

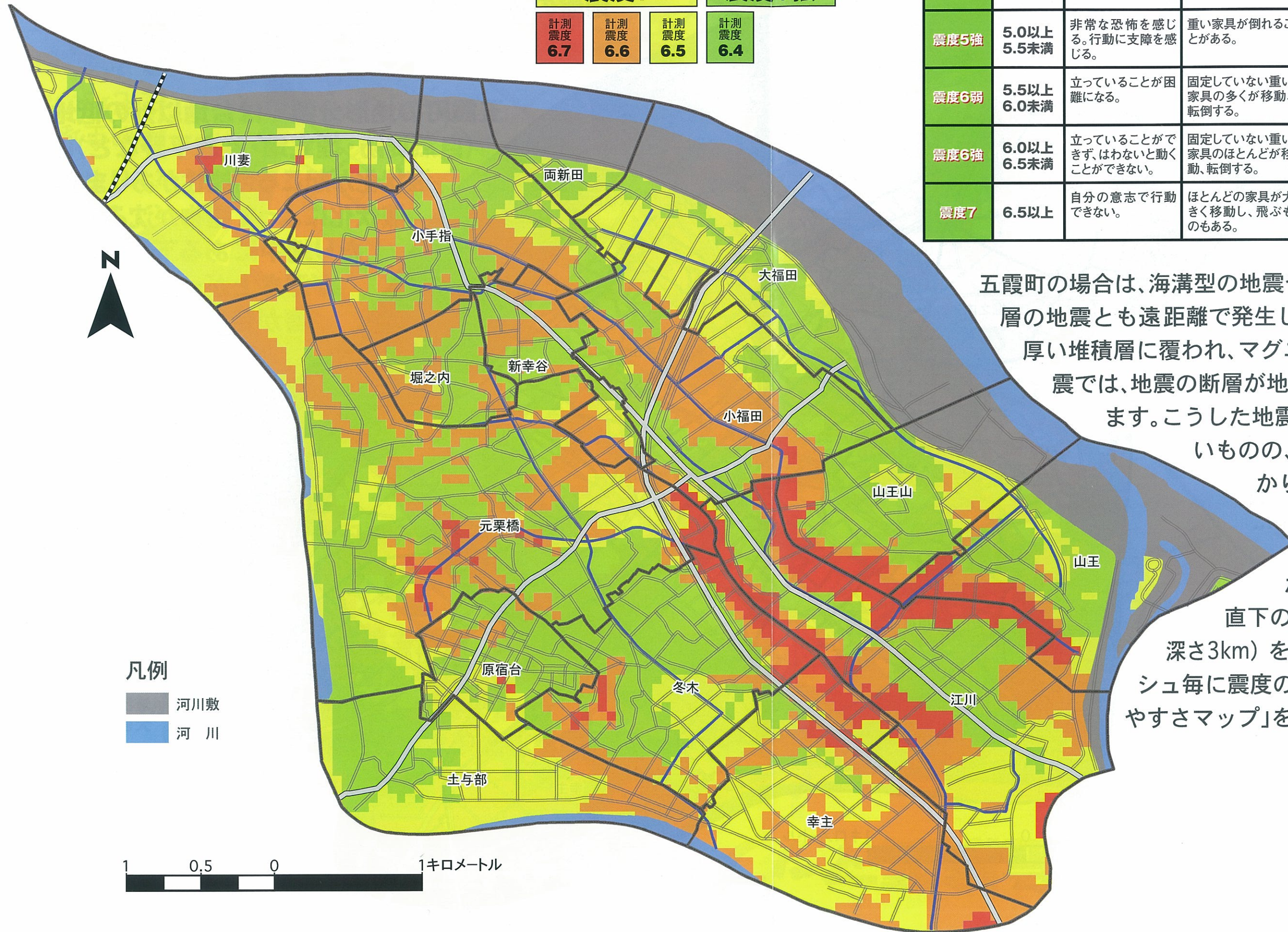
# 揺れやすさマップ(マグニチュード7.2の場合)

強 ← → 弱

震度7 震度6強

計測震度 6.7 計測震度 6.6 計測震度 6.5 計測震度 6.4

震度階級	計測震度	人間	屋内	屋外	耐震性の低い木造建物
震度5弱	4.5以上 5.0未満	身の安全を図ろうとする。	棚にある食器類が落ちることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。	壁や柱が破損するものがある。
震度5強	5.0以上 5.5未満	非常な恐怖を感じる。行動に支障を感じる。	重い家具が倒れることがある。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。	壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。
震度6弱	5.5以上 6.0未満	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	倒壊するものがある。
震度6強	6.0以上 6.5未満	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。	補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	倒壊するものが多い。
震度7	6.5以上	自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損落下する。	耐震性の高い住宅でも傾いたり大きく破壊するものがある。



五霞町の場合は、海溝型の地震や現在知られている活断層の地震とも遠距離で発生します。一方、関東平野は、厚い堆積層に覆われ、マグニチュード7クラスの地震では、地震の断層が地表に現れない場合があります。こうした地震は、発生確率は高くはないものの、いつ、どこで起こるかわかりません。このため、さまざまなタイプの地震のうち、五霞町での震度が最大値となるような町直下の地震(マグニチュード7.2、深さ3km)を想定し、50メートルメッシュ毎に震度の最大値を表現した「揺れやすさマップ」を作成しました。

凡例  
河川敷  
河川

1 0.5 0 1キロメートル